

年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。未だに更なる脅威となってきた新型コロナウイルスの感染拡大は、今までに経験したことのない組合活動となりましたが、組合員・OB・ご家族の皆様の行動に感謝します。

今年は、1991年8月11日、JR東海労を結成してから結成30周年を迎えます。この30年間の成果と教訓点を確認し、更なる奮闘をお願いします。



東京車両所分会
執行委員長 板倉 晋

昨年2月頃から世界中で脅威となり、多くの死者を出している新型コロナウイルスは、現在も猛威を振るっています。大井基地内でも社員が感染し、より身近なものになってきています。会社はだれが感染するかわからない状況下でも具体的な状況を説明することなく「関係個所の消毒をした。手洗い・マスク・うがいを」と言うだけで、組合がPCR検査の実施などを要求しているにもかかわらず何ら具体的対策をしていません。より良い対策を求め会社に申入れをしていきます。

会社は昨年の期末手当を新型コロナによる減収を理由に2.2か月分と回答しました。N700Sの導入による労働強化やコロナウイルス感染の危険性を感じながらも業務に就いている現状においての大幅な減額に、多くの社員が不満を感じているのが現実です。コロナ禍を理由に労働者への我慢と犠牲を強いる会社を許しません！今後も声をあげていきましょう！

分会はコロナ禍での厳しい現状において、組合員が集うことができたのは、残念ながら懇親会なしでの分会大会だけでした。本来であれば開催すべき、職集や祝う会、激励会や懇親会等を『命を守るため』を最優先とし開催しませんでした。今年も厳しい状況ですが、私たちは30年前にJR東海労を結成し、あたりまえの労働運動を展開してきました。その歴史と教訓、強い絆でこの難局を乗り越えましょう。

『診断書強要団交拒否中労委』闘争は、次回1月14日の調査で証人審問についての判断がされます。証人審問の開催が決定した際には、更なる支援をお願いします。

私たちは職場や出向先などの諸問題解決、諸要求実現に向け新幹線地本と連携し奮闘します。

OBの方々とも会えない日々が続いています。元気に集う日を心待ちにしつつ健康に気を付け頑張りましょう。

分会執行委員会は最先頭で奮闘します。今年もよろしくお願いします。

2021年 元旦

